

平成26年度埼玉県・オハイオ州機械工学系奨学生レポート 3月

「フィンドレー市長訪問」

春が近づき、キャンパス内にも冬眠を終えたりスやうさぎが見られるようになりました。春は出会いと別れの季節と言うように、日本人留学生や日本で働くアメリカ人の友人の中には、日本の年度に合わせて帰国する者も現れ、フィンドレーももの寂しくなっていました。

フィンドレー市長訪問

3月の中旬、埼玉県奨学生の三人と福井県の奨学生とでフィンドレー市長を訪問しました。市長は、9月の上田知事訪問やフィンドレー日本人会など大きなイベントのたびに出席していただいておりますが、ほんの少し言葉を交わした程度でしたので、非常に緊張しました。

お話してみると、とても気さくな方でした。ロック好きとのことでライブに行った際の写真や、昨年生まれたお子さんの写真などをスマートフォンで見せてくださるなど、とてもフレンドリーな方でした。

またフィンドレー市の現状や過去からの推移など、政策面からも伺うことができました。同市は、小規模都市でありながら大きな経済的利益を上げているとして賞を受賞したことがあったそうで、そのときのことを詳細に説明してくださいました。自動車関連企業が多く存在していることやマラソンペトロリアム(全米第5位の石油精製会社)が本社を置いていたことなどが受賞理由だそうです。現在でも、市の税金において自動車産業が大きな比率を占めているとおっしゃっていました。

歓談後は市庁舎を案内していただき、議事堂を見学しました。議事堂は日本で見られる様なものではなく大きめの会議室といった雰囲気です。最初は議事堂と分かりませんでした。各テーブル置かれた市長や議員のネームプレートを見てようやく実感がわきました。

最後に皆で記念撮影をしました。カメラマンの方も、緊張していた私に笑顔で接してくださり、終始とてもにこやかな訪問でした。



市長との記念撮影